

ーあざなう網が福を呼ぶ

那覇の大綱挽にめんそ〜れ〜(いらっしやい)ー

暑い日がまだまだ続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。4月より沖縄科学技術大学院大学から、沖縄・奄美諸島の地域振興をお手伝いしている(一財)南西地域産業活性化センター(NIAC)に移りました、沖縄在住の城間保です。

他府県と同じく沖縄県でも多くの起業家たちが、イノベーションを起こすベンチャー企業となるべく、日夜、試行錯誤や市場開拓に励んでおります。

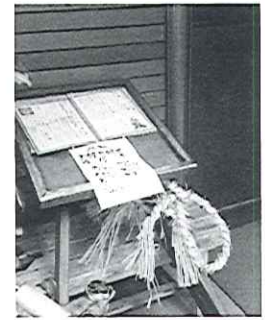
ところで今回は、「ぼちぼち秋の旅行先を検討しようかな」とお考えの方に、10月13日に開催予定の「那覇大綱挽」のご紹介したいと思います。「引き」でなく、「挽き」なのは、その綱のひかれる様が擬音として「挽き」に近いので、この字が当てられたのかと思っています。五穀豊穡、子孫繁栄的な意味をもつ大綱は、女綱・男綱を頭貫(かぬち)棒で結合した全長200m、直径約1.6m、重量約43トンと、世界一の米藁綱として毎年自己ギネスを更新しています。国道を一部規制して挽き場所をしつらえ、総観衆約28万人のうち約1万5千人余の挽き手(主催者側発表)が、東西に分かれ30分かけて戦います。綱を挽きたい方はどなたでも参加OKで、服装も自由です。「オーエス、オーエス」の掛け声でなく、「ハ〜イ〜ヤッ、ハ〜イ〜ヤッ」と地元の言葉で挽いてください。ですが、綱の重さ・大きさゆえ、最初は動いているのかどうかわかりません。綱の上には挽き方の指南役もおりますが、さながら大型車の誘導係です。勝敗の判定・カチャーシー(踊り)でフィナーレを迎えた綱は、すぐに厄払いや商売繁盛等の縁起物に早変わり。うれしいことに持ち帰ることができます。もらえる綱のサイズも腰に巻きつける縄タイプから、たすきのように肩にかける大型のものまでそろっています。持ち帰った綱を店の入り口(写真)に結んで、商売繁盛のお守りとして使う経営者の方も多数いらっしやいます。

また、綱挽き開始前に旗頭(はたがしら)(後述)を持つ男たちは、独特の服「むむぬちはんたー」(股引半套)を装い、旗頭の見得切り(飾りつけをした40~50kgもあるのぼり旗を一人で持ち上げ、上下に乱舞させる)をメインストリートの国際通りで行うので、それらを見て楽しんだり、綱挽き会場では、東西に分かれて沖縄の歴史上の人物に扮した演者や空手の演武者による見得の切りあいも見て楽しめます。

「いや〜、行くなら今でしょ。」という方には、直近で申し訳ないのですが、「一万人のエイサー踊り隊」のイベントが8月4日に国際通りで開催予定です。エイサーは、近畿一円でも見たことがあるかと思われまので割愛いたしますが、現代風にアレンジされたダイナミックな動きが見る者を魅了し、太鼓から繰り出される力強い音が胸に響きます。当日はエイサーのほかに、琉球古典芸能、大道芸等も行われ、まつりを盛り上げます。



「沖縄の守り神 シーサー」



「縁起物の挽き綱」

(一財)南西地域産業活性化センター(NIAC)
研究員 城間保

〜アジアトピックス〜

株式会社フジキン ベトナム新工場の操業を開始
(同社のNews Releaseから)

精密バルブ・流体(ながれ)制御システム最大手のフジキン(代表執行役社長兼COO野島新也)は、ベトナム北部のバクニン省で進めてきた新工場の建設を竣工し、本格操業を開始する運びとなりました。

新工場はベトナム・シンガポール工業団地(VSIP)に位置し、敷地面積103,066㎡、鉄筋コンクリート構造二階建て(一部三階建て)、建屋面積7,050㎡、延べ床面積9,371㎡の規模。昨年9月に着工し建設を進めてきたもので、設計・調達・建設は日揮様のベトナム法人、JGCベトナム様が担当。総投資額は約25億円となりました。

新工場では主に工業用精密バルブ、継手の製造とユニット関連の開発、製造を行うとともに水浄化装置、遠隔医療ソフト、医療機器、食品関連機器といったライフサイエンス関連事業の立上げも視野に入れています。

立上げ時の従業員数は50人。業容の拡大に伴ない順次、増員して参ります。

フジキンはベトナム・ハノイ市のタンロン工業団地にクリーンルームを備えた工場を持ち、半導体やエレクトロニクス向

けのバルブや継手などを生産しています。また2011年4月には、ベトナムで拡大する発電所建設や石油関連プラント市場に対応するため、貿易商社のライセンスを取得し、ハノイにビナ・ワールド・リンク社を設立しています。今回の新工場はベトナムでは三番目の拠点となりますが、これによりアジアでの販路拡大を一気に加速していく考えです。

◆ 新工場の概要

FUJIKIN INCORPORATED (BAC NINH)

社長 川端 章夫

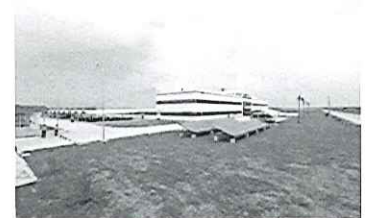
No.14, Street8, VSIP Bac Ninh,

Tu Son Town, Bac Ninh

Province, Vietnam,

・Tel +84 241 3765 371

・Fax +84 241 3765 372



<ベトナム・バクニン工場>

・竣工式は5月25日にバクニン工場で行なわれ政府関係者など約100人近い皆様が出席され、当社小川会長、野島社長ほか幹部の方々と「アジアものづくり共有体の中心として最適のベトナム」の竣工を祝われたとの事です。

<保育ジジイの日本経済入門>



「前号の続きを・・・」「ハ～イ!」。年に一回の誓いを反故に!

「付け焼刃の場当たり経済政策は、暴走族のドリフト走行」(2月号=2012.12.26記)と酷評、残念ながら当たってしまった。わずか数カ月。あっけなかった。したり顔で解説する意地悪さはない。ただ一言。緩和、カンワと貨幣を切下げ(実質的な為替操作)、バブルを「デフレ脱却」と称し、国債の安定消化(薄氷)をブチ壊すなど金融市場を動揺させ、海外ヘッジファンドなどに暴利を提供した罪は重い。それ以上の解説は、浜矩子、小幡績(元財務官僚)、藻谷浩介など気鋭のエコノミストにお任せ。

悲観論一色ではなく、違う視点から。ここ数年の「てんこもり」の再掲、再々掲になります。ご容赦ください。まず日本の現状から。人口の減少、高齢化、狭い国土と過密、資源の乏しさ、台風と地震の多さ等々。そんな地理・環境の中で、教育水準が高く、豊饒な伝統と文化を持った勤勉な人たちが暮らしています。

前号で紹介。日本の海外資産は630兆円、借金を差し引いた対外「純資産」は258兆円(2012年6月末)と断トツの世界一。また生産に直結している直接投資残高は74兆8,280億円、製造業は35兆8,877億円、その果実(利息・配当収入)は3兆4947億円(平成22年度)です。また経済産業省の2012年企業活動基本調査によれば、資本金3千万円・従業員数50人以上の製造業のうち、四分の一(25.6%)が海外子会社を有しています。大企業や関連企業は十分な財政ストックと製造拠点を持っています。このうえ「投資減税」が必要なのでしょうか?大企業中心の経済政策は方向転換が必要です。ダウンサイジングは必至。業界の統合・再編はさらに加速するでしょう。

これから人口減、とくに労働人口が大幅に減少します。手始めに郵便の配達、駅の窓口業務などすべて女性に任せては?業務の効率が優れているのは、子供を持った女性社員とか。TVで紹介されました。確か三菱ケミカルHの人事部長だったかと?警察署内に託児所設置を検討?インターネットに流れ、目を疑いました。真偽はともかく、経験豊かな女性警官の退職が大きな課題のようです。日本生命、男性社員の育休、全員取得の方針(6月19日付の毎日新聞)。いいですね。出産・育児のハンディを社会全体で考慮しましょう。老人の技術や経験も大切に。差別主義者の愚行を許している社会では、移民も受け入れも難しい。通称名を強いられている在日の人達、ハンディを負った人も大事にしなくては。貧困で進学の機会を失くしている子供たちの存在も社会の大きな損失。今、働かせる側の意識改革が求められています。(2013・6・19記) <次号につづく>

羽世田 鉦四郎(元ベンチャーキャピタリスト)

VECレポーターが行く! ～あべのハルカス・先行オープン～

近畿日本鉄道が開発し、総投資額が1,300億円と言われている地上300メートル、ビルとして日本一の高さを誇る「あべのハルカス」。

来春のグランドオープンに先行して、近鉄百貨店タワー館が6月13日(木)に開店しました。

今回も「NEW」というものには、まず現地へアタックということで、60階建てのビルを仰ぎながら開店当日、店内へ潜入。

時間が夕方ということもあるのか超混雑を想定していたものの、意外と店内移動はスムーズ。敷地の4分の1を非物販スペースにして「日本一滞在時間が長い百貨店」を目指すのがコンセプトらしく、そのあらわれかも知れない。

また日本最大級というレストラン街は12階、13階、14階に跨がっていて全部廻るのに大変!

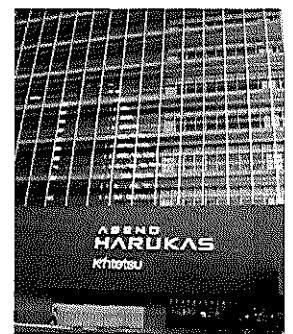
ようやく自然食ビュッフェで今話題の「モクモク直営農場レストラン」に在り付くが、店内はすでに満席状態。

6階、7階にはNPOや市民活動団体と地域との関わりを推進する狙いで、縁活(えんかつ)フロアを設けて百貨店が地域密着化の企画。

来春の全館開業時には「阪南大学、大阪芸術大学、四天王寺大学、大阪大谷大学の4大学キャンパス」、「美術館」、「展望台」、「大阪マリOTT都ホテル」、「オフィスフロア」なども出揃い、大阪南部、天王寺地区の発展にも寄与することが期待されている。

その後、入館者は予想以上に多いらしいが、この記事が掲載される8月にはどのような状況になっているのか再度アタックしたいものです。

記・VEC関西支部 事務局



<あべのハルカス>



<モクモク直営農場 レストラン>

～VEC関西より～

・羽世田氏のご指摘通りこれからの人口減、特に労働人口が大幅に減少するでしょう。其れにもかかわらずグランフロント大阪、阿倍野ハルカスなど大型ビルが続々開業。覗いてみると開業間もないのに人はまばら。人の懐の心配しても仕方ありませんが、やはりこちらの懐にも廻りまわって響いてきます。ビルのテナントに入るよりもっとアイデア出してベンチャーをどんどん立ち上げましょう。(本田)

・「あべのハルカス」先行オープンより1ヵ月が過ぎ、どんな状況かなあ～と、友人と行ってきました。平日にも関わらず思ったより人が多かったので上記モクモクは30組待ち・・・あきらめました。これから夏休みに突入!梅田には負けますが、あべの界限も賑わって行って欲しいものです。(藤本)

・城間様は関西赴任から沖縄へ戻られ、地域振興に尽力されています。フジキン様は将来を展望してベトナムでの拠点を増加し、アジア戦略を加速されています。羽世田様から今回も鋭い切り口で今の経済状況について分析をされています。皆様今月も猛暑の中メッセージ有難うございました。(澤村)

<交流会の予定>

平成25年9月2日(月) 大阪府立大学大学院工学研究科
准教授・博士 遠藤 達郎 様